



平成 28 年 3 月 3 日

各 位

株式会社 R V H
代表取締役社長 沼田 英也
(東証二部・コード 6786)
問合せ先 取締役管理部長 斉藤 順市
電話 (03-6277-8031)

通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 28 年 1 月 4 日付にて公表いたしました通期連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

平成 28 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正 (平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	15,700	—	1,800	1,100	77.94
今回修正予想 (B)	17,300	2,330	2,350	1,410	116.74
増減額 (B-A)	1,600	—	550	310	—
増減率 (%)	10.2%	—	30.6%	28.2%	—
(ご参考) 前期実績 (平成 27 年 3 月期)	5,228	474	545	1,005	146.11

修正の理由

平成 28 年 3 月期の通期連結業績予想につきまして、売上高、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は、主に美容脱毛事業及び広告事業の業績が堅調であることから、それぞれ前回予想を上回る見込みとなりました。

なお、ミュゼプラチナム子会社化による今期のれん計上額は 7,739 百万円、のれん償却期間は 20 年を前提としております。なお、のれん計上額については、今後美容脱毛事業の譲受対価が変動した場合には変更される可能性があります。また、当社は、同事業の事業計画について、当社グループにおけるシナジー効果及び同社の有する顧客数、全国展開される幅広い店舗ネットワーク及びブランド価値を活用した事業の多角化等を加味した経営戦略を策定し、平成 28 年 3 月を目途に当社グループとしてのミュゼプラチナムの事業計画を新たに作成する予定であり、当該事業計画を以て同事業の資産性を評価する方針ではありますが、仮に、当該事業計画により見積られる将来キャッシュ・フローが、のれん総額を下回る場合又は子会社化後のミュゼプラチナムの事業活動が順調に推移しなかった場合は、企業会計基準適用指針に基づき減損損失の計上が必要となる可能性があります。

※上記の予想数値は、本資料の発表日現在において当社が入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、上記減損損失の計上可能性及び税務リスク発生可能性については、上記業績予想に織り込んでおりません。

以 上